

気付きのチャンス

乳幼児健康診査は、保護者にとって最初の気付きの場になることがあります。

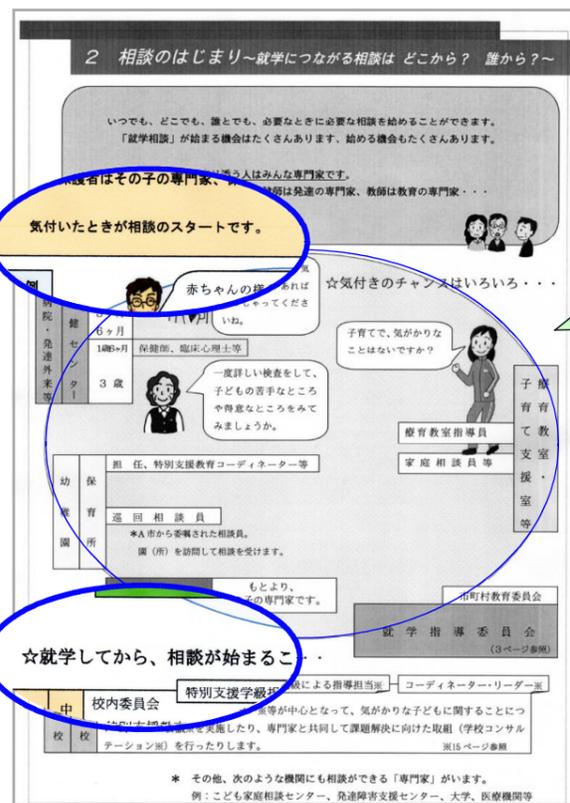
奈良市では、3歳児健診のフォローとして4歳半健診を行っています。

早期療育につながった例

お兄ちゃんの予防接種の時に、1歳半の弟のことについて保健師さんに相談したら、療育機関を勧めていただきました。おかげで早くから訓練を受けることができ、今では学校で安心して生活できるようになっています。



1 つ な が り



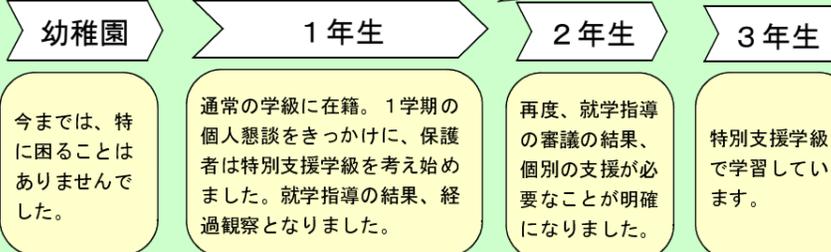
情報をつなぐ

- ・ 1歳半、3歳の健診から“就学指導”が始まっているという意識をもつことが大切です。
- ・ 様々な機関が互いにつながり、子どもを中心に据えた情報のネットワークを作ること、その子に関わるすべての大人の責務です。

「どうしてうちの子どものことを知っているの？」から「もう知っているのね。」へ

「就学=相談終了」ではありません

入学後の就学指導もあります。



学校間のネットワーク

橿原市では各中学校区ごとに、特別支援教育コーディネーター連絡会を開いています。



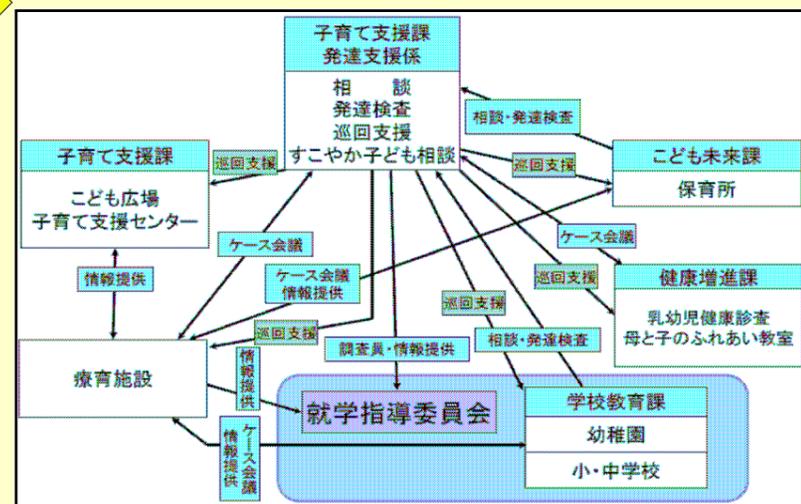
スムーズな移行支援のために

- ・ 児童生徒の学習や生活の様子を共有しています。
- ・ ブロックで統一した様式を用いて「個別の教育支援計画」を作成しています。(八木中学校ブロック)
- ・ 事例を出し合い、適切な指導や必要な支援について協議しています。
- ・ 支援に役立つ「就学前ひきつぎシート」を作っています。(畷中学校ブロック)

様々なネットワーク



関係行政機関のネットワーク



橿原市の例